



はらじゅくかわら版

独立行政法人 国立病院機構

横浜医療センターの理念

私たちは、患者さまの人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者様中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供すると共に、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者様がより良い医療が受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



看護学校より撮影

第30号 目次

院長の言葉	1
行事紹介	
手作り接遇研修会「本田劇場」	2
第10回 CRCと臨床試験のあり方を考える会議参加報告	3
お知らせコーナー	
新病院における外構整備工事の進捗状況について	4
物忘れ外来について	5
頭痛外来	
職場紹介	
中央手術室	6
地域医療連携	
病診連携施設紹介	7

新人看護師奮闘記	8
症例検討会・研究会開催のお知らせ	9
医師の人事異動	
平成23年度 看護職員募集のお知らせ/編集後記	10
外来担当医表	11

発行月：平成22年10月
 発行：独立行政法人国立病院機構
 横浜医療センター 広報委員会

発行責任者：高橋 俊毅
 住所：横浜市戸塚区原宿3-60-2
 電話：045-851-2621
 FAX：045-851-3902
 URL：<http://www.hosp.go.jp/yokoham/>



当院携帯サイトはこちらから

院長の言葉

- 新病院での診療はおかげさまで順調です -



院長 高橋 俊毅

3月21日の地域への内覧会の日、約2000名の方々が定刻前から続々と来場される姿に私をはじめ職員は身のすくむほどの感動を覚え、地域の方々の期待に応えなければとの想いを新たにしました。当院は65年の歴史を誇る病院でしたが築40年以上の老朽化が著しく、患者さまの療養環境や職員の職場環境も劣悪で病院の更新築は永年の悲願でした。3月30日に病棟業務、4月5日からの手術と外来業務の開始から大小の様々な問題がありましたが、高度医療機器の増設や電子カルテまでのハードとソフト面の飛躍的な拡充に伴う開院前の難関と同様に職員の創意工夫と努力で乗り越えてきました。4月から地域医療支援病院であると共に横浜市南西部地域中核病院となった新病院では施設面と共に救命救急センターや地域周産期母子医療センターの医師や看護師などの職員の大幅な増員で機能的にも飛躍的に拡充強化され、三次までの急性期型高度総合病院として地域の方々や医療機関の期待に充分応えられる体制や設備が整ったと自負しています。

11月末の外構工事終了時には看護学校との間の575台収容の駐車場に連なる南西側の公開空地は緑地公園化され学童の通学路や地域の方々の散策などにご利用いただきます。敷地北側の免震構造7階建て510床のコンパクトで機能的な病院からは西に富士山、東にランドマークタワーを眺められます。アクセス面でのネックであった国道1号線と環状4号線が交差する病院傍の交通渋滞で有名な原宿交差点も立体交差が12月に完成し渋滞が緩和される予定です。さらに当院への利用者にご不便おかけしていた車の右折やバスの乗り入れなどに必要とされる信号機の設置や道路状況の改善も関係官庁や会社のご尽力をお願いしています。これまで当院が「地域に選ばれる病院をめざして」掲げてきた方針を継続し「提供する医療の安全と質の向上」と共に入院への特化（専門外来の強化、救急・紹介重視型外来）とかかりつけ医との連携、退院時調整専任看護師（長）の増員や地域連携クリティカルパスの活用などで地域での医療連携を深め、地域完結型医療の実践に努力していきます。病棟は機能および臓器別センター方式として、救命救急センター（ICU10床）、脳神経センター（SCU3床）、消化器センター、循環器センター（HCU4床）、母子センター（NICU 6床 GCU4床）など外来も含めて予想以上に順調に運営されています。これまで新病院の建設には多くの方にご尽力いただきました。改めて関係各位に深く感謝いたします。今後も職員一同、地域住民の方々や医療機関の皆様 に十分に新病院をご利用いただけるように努力していきますので、さらなるご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

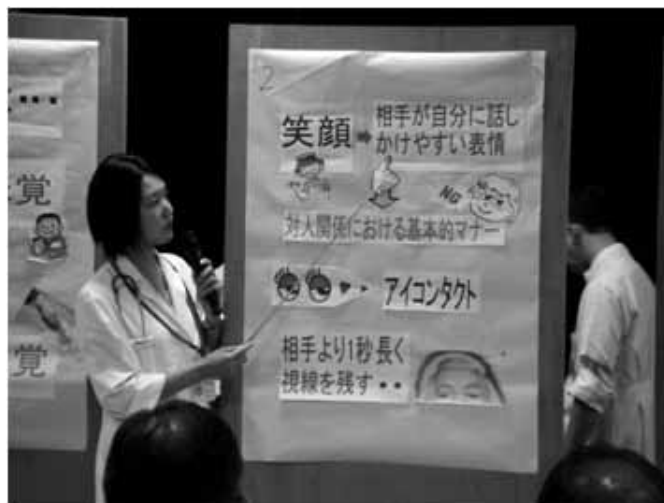


行事紹介

手作り接遇研修会「本田劇場」

医療安全管理室 小林 洋子

10月1日に医療サービス推進委員会メンバーによる手作りの接遇研修会を開催しました。患者様から寄せられたご意見を、職員が理解しやすいよう寸劇で表現するという内容です。医療サービス推進委員会の委員長である本田泌尿器科部長の名を借り「劇団本田座」と勝手に命名。脚本準備から小道具作り、演技トレーニングや音楽・照明合わせなどの準備には数か月を要しました。委員会メンバーは医師、看護師、コメディカル（薬剤科、放射線科、検査科、栄養科）、事務職員という多職種による構成でした。これまでこれほど長期間の共同作業を多職種間で行なった経験がなく、演習を重ねるごとに連帯感が深まり貴重な体験ができました。何度も台詞を間違える人、出番を忘れる人、恥ずかしくて演技にならない人など行く先不安な集団でしたが当日は、つたない演技とハリセンの音に会場が笑いの渦に包まれました。かくして素人劇団は無事に初日を迎えられ（初日だけで終了なのですが）、アンケート結果では「患者様の意見をフィードバックする良い機会になった」「思い当たる反省点があり勉強になった」「大変楽しく、わかりやすい研修だった」や、中には「見逃したのもう一度やってもらえないか」などリクエストの声もあり、思いのほか高い評価を得る事ができました。看護部長さんからは「他施設への出張研修も有りえる」などという有難くも恐ろしいコメントを頂きましたが、当面は主演女優（看護師長）も、主演男優（事務職員）も枕を高くして眠りにつけることと思います。



行 事 紹 介

第10回 CRCと臨床試験のあり方を考える会議参加報告

治験管理室 治験主任 桜井 祐人

CRCと臨床試験のあり方を考える会議は、日本看護協会，日本病院薬剤師会，日本薬剤師研修センター，日本臨床衛生検査技師会と，日本臨床薬理学会，日本製薬工業協会それに日本SMO協会にて「CRC連絡協議会」が結成され，共通の話し合いの場として2001年から開催されています。今回は、10月1日～3日に、大分県別府市、ビーコンプラザにて開催されました。

2000人を越える、全国から大小様々な施設の治験支援スタッフ、依頼者である製薬企業関係者、治験実施医師等が参加し、興味深い講演、セミナー、ポスター発表が行われ、また、熱心なディスカッションが行われました。

特に、世界が一つの実施計画書により行われる「国際共同治験」についても発表は、当院においても試行錯誤を繰り返す中で実施していますので、大変参考になりました。

当院からは、今回、本年4月に、電子カルテシステムが導入されたことに伴い新たに構築した入院治験支援システムについてポスターセッションにおいて発表し、特に、今後電子カルテの導入が予定されている施設のスタッフには興味を持っていただけたようです。

会議に参加している以外の時間を利用して、「21世紀に残したい日本の風景百選」2位の「別府の湯けむり」を眺め、夕食では地元の食材を食しながら、直面している課題や今後の研究支援のあり方等について、一緒に参加した岩出治験管理室長、佐久間CRC、山田主任検査技師等とじっくり話し合う事もでき、大変貴重な時間となりました。

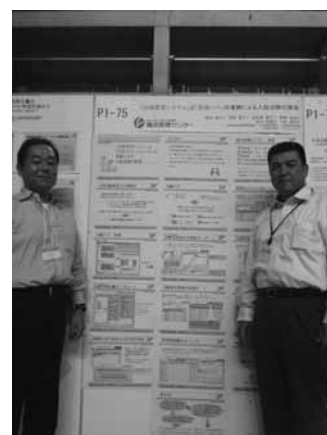
用語解説

治験.....治験(ちけん)とは、医薬品もしくは医療機器の製造販売に関して、薬事法上の承認を得るために行われる臨床試験。

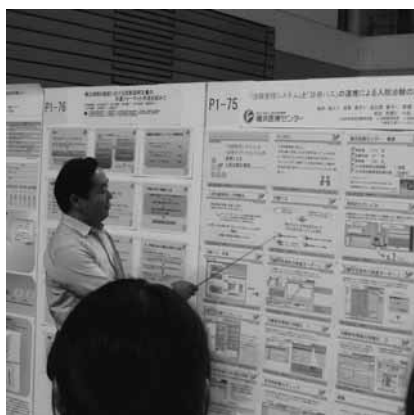
CRC...治験責任医師又は治験分担医師の下、治験業務に協力する者のこと。通常、看護師、薬剤師、臨床検査技師などの医療関係者になる。



当院ポスター前にて、左より岩出治験管理室長 筆者 佐久間CRC



当院ポスター前にて、左より筆者 山田主任検査技師



発表中の筆者



21世紀に残したい日本の風景百選」2位の「別府の湯けむり」



関サバのお造り

お知らせコーナー

新病院における外構整備工事の進捗状況について

地域中核連携係長 濱井 俊充

4月に新病院が開院し、早くも半年が過ぎました。

新病院における駐車場等の外構整備工事も順調に進み、11月末のグランドオープンまであと2か月を切っています。計画では、一般駐車場420台（うち車椅子用駐車場10台）一般用自動二輪車置場40台、一般用自転車置場90台を整備するとともに、地域の皆さまにご利用いただく約11,000㎡の公開空地を整備する予定です。

これまでの間、ご来院の皆さまには正面入口の変更やセンター敷地内の車両通行経路の変更等のご不便をおかけしました。また、地域の皆さまには工事に伴う騒音・振動等についてご迷惑をおかけしましたが、11月中には外構工事が終了することで、当センターの安全性・利便性はより一層向上します。

今後とも、地域に信頼され選ばれる病院となるべく努力を続けてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



環状4号線歩道橋より撮影



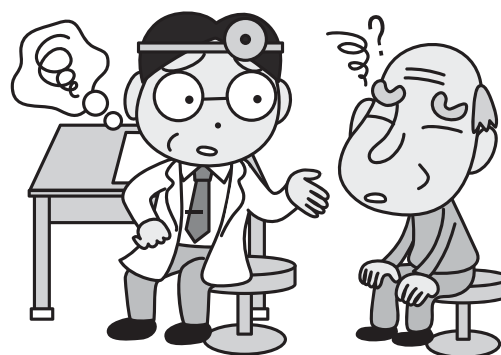
7階デイルームより撮影

お知らせコーナー

物忘れ外来について

神経内科 部長 高橋 竜哉

高齢化社会到来に伴い、物忘れを始めとする認知機能障害を持つ高齢者は増加の一途です。認知機能障害を呈する大半の患者さんは生理的な加齢性変化か、あるいはその延長線上にあるアルツハイマー型認知症です。残念ながらアルツハイマー型認知症の場合、現時点で原因がわかっていないため有効な治療法がありません。ですから癌などとは異なって早期発見早期治療とはいきません。ところがごくまれに、認知機能障害を来した患者さんの中には脳以外の体の変調がその原因になっていることがあります。そのような場合には原因を取り除くことができれば認知機能障害は治る可能性があります。物忘れ外来の一つの大きな使命はこのような「治る認知症」を見つけ出して治療への道筋をつけることにあります。もう一つの物忘れ外来の使命は、根本的な治療はできないけれども、患者さんの認知症のタイプや病前性格、認知機能障害に伴って起こる介護上問題となるような異常行動に応じて、薬物療法のみならず、薬物を使わない様々な対処の方法を提示することです。本外来は完全予約制ですので受診をご希望される場合はお近くのかかりつけ医にご相談下さい。かかりつけ医から地域医療連携室を通じて予約を取ることができます。



頭痛外来

神経内科 部長 高橋 竜哉

頭痛には大きく分けて急性頭痛と慢性頭痛があります。急性頭痛はクモ膜下出血や髄膜炎など急を要する疾患の可能性があり十分注意が必要な重篤な病態と言えます。それに対して慢性頭痛は、命に関わることなく、また特に片頭痛や群発頭痛では繰り返す痛みが日常生活を脅かしているにも関わらず痛みは外からは見えにくいという理由から軽視される傾向にあります。頭痛外来の使命は、慢性頭痛に悩んでいる方に対して、まずは系統的な問診と場合によっては脳MRIなどの画像診断を組み合わせ、可能な限り正確な診断をくださることです。思わぬ合併症によって元々の片頭痛が悪化して見えたり、ライフスタイルの変化が元からの片頭痛に緊張型頭痛を合併させたりすることがあります。そのような複雑な病態をもつれた糸をほぐすようにして診断に迫って行くわけです。そして二つ目の使命ですが、その診断に基づき更に患者さんのライフスタイル、ニーズに合わせたオーダーメイドの治療計画を立てます。慢性頭痛の治療には頭痛発作時に行う頓挫療法と発作頻度を減らす予防療法があります。これらを組み合わせ最適な治療法を患者さんとともに創造していきます。本外来は完全予約制ですので受診をご希望される場合はお近くのかかりつけ医にご相談下さい。かかりつけ医から地域医療連携室を通じて予約を取ることができます。



職 場 紹 介

今回は中央手術室の紹介です。

中央手術室

手術室 看護師長 多田 博子

中央手術室は3階にあり、救命センター・集中治療室(ICU)と隣り合わせの位置にあります。7つの部屋があり、空調はHEPAフィルターを使用しきれいな空気が循環しています。手術室環境の清潔度のモニタリングも定期的に行っています。

昨年手術件数は約3111件です。新病院となり、手術件数は増加しています。現在麻酔科医8名、看護師23名が常勤し、術前から、手術中、手術後の麻酔管理と全身管理を行っています。

手術は、胸・腹部外科・心臓血管外科・脳神経外科などの手術や、顕微鏡を使った微細な手術、そして手術後経過を見せていただいてそのまま帰宅できる日帰り手術などいろいろなものが行われています。さらに、手術はあらかじめ計画された定期手術のみではありません。交通事故による外傷、脳出血、消化管穿孔などは急いで手術をする必要があります。このため手術室では24時間365日いつでも緊急手術に対応できる体制をとっています。

手術前日には麻酔科医の診察と、手術担当看護師からの説明があります。ここで患者さんのお顔の確認をします。さらに患者取り違いを防止するために、手術室入室時に名前の記入されたネームバンドを電子カルテ上で認証させていただきます。

手術室では安心して安全に手術が受けられるように、患者さんの好みの曲を流したりすることでリラックスできる環境づくりを実施しています。また、手術担当医、麻酔科医、看護師、臨床工学技師などコメディカルスタッフと共にチームを組み、円滑な手術を提供することによって、手術患者の皆さんの安全をお守りしています。



地域医療連携

病診連携施設紹介

汲沢中央診療所

診療科目：内科・小児科・外科・耳鼻咽喉科

皆様、こんにちは。戸塚区汲沢にある汲沢中央診療所です。戸塚高校前で父と二人で内科の診療に携わっております。今回、病診連携診療所の紹介として掲載させていただきました。

病診連携という言葉は初めて聞いたのは二十数年前です。東京の国立病院勤務時代に米国の家庭医にお話を伺いました。家庭医と各科の専門医がチームとなり患者さんを診る病診連携のシステムです。この連携により患者さんは、スムーズに高度な医療を受けることができます。当時、最先端のパソコン通信で情報を共有していました。



中央 上田院長

米国の医療システムには素晴らしいものがありますが、よりよい医療を受けるには多額の費用がかかりますので、一部の方のみに限定されます。

幸いな事に、日本では皆保険制度を維持しながら、近年この病診連携制度が成熟して参りました。

現代の医療は、高度に専門化して各診療科はより細分化され、症状だけでは何処の科に行けばよいか迷うことが多くなりました。この相談に当たるのが各診療所、医院です。

近くの開業医の診察室が病院の診察室の一部となり、適切に国立病院・総合病院の専門医へ紹介して診療を受けていただき、症状が安定したところで診療所、医院へ逆紹介、そして定期的に専門医と連携致します。病診連携は、患者さんが必要な医療にスムーズに到達できるシステムなのです。

私自身も、神奈川県診療報酬支払基金の審査・運営委員として、大学病院の内科の書類を拝見させていただいた経験を元に、総合内科医としてこのシステムに参加しております。

現在、汲沢中央診療所では生活習慣病の治療と合併症・重症化対策、再発防止を中心とした診療を行っております。この連携により、より専門的なご指導をいただき、より良い診療を行いたいと思います。よろしくお願い致します。



汲沢中央診療所

〒245-0061 横浜市戸塚区汲沢8-29-16

TEL: 045-881-5572

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00 ~ 12:00							/
午後 3:00 ~ 6:00						/	/

木曜午後は3:00~4:00まで

休診日 土曜午後 日曜

新人看護師奮闘記

教育担当師長 黒沢 孝子

胸に黄色のバッジをつけた看護師を見かけませんか?当院の新人看護師です。

H22年度は79名の新人看護師が入職しました。何もかも初めてのことばかりでとまどい、ドキドキしながらも日々、患者さまに良い看護を提供できるように奮闘しています。当院では「患者さま中心」を念頭において、温かい笑顔で心のこもった看護を提供できる看護師を育成するため、新人看護師の研修をおこなっています。その中の一部をご紹介します。



痛くないように横に向けて着替えをします。

すみません、チクっとします。



スパイラル研修

4月の間は病棟で先輩の看護する姿を見学したり、指導を受けながら一緒に行わせてもらいます。午後からは、おむつ交換や、寝衣交換、食事や薬の飲ませ方採血などなど、生活援助の方法や観察・技術の研修を行います。そして、習ったことから少しずつ、先輩の監督指導を受けながら実践していきます。

トロっとさせてあげるのね。
うん、これならむせない!



夜勤体験

「夜の患者さまはどのように過ごしているんだろう」

「遅刻しないで行くには何時頃、行けばよい？」

夜勤経験がない新人看護師たちには「夜勤」は???だらけ

当院ではそんな彼女・彼らにまずは夜勤を「知ってもらおう」ということで「夜勤体験」を行っています。

(前ページより)

サマースクール

急性期の当院の特色を学んで日々の看護に生かせるように、少し慣れてきた8月にICU・救急外来・手術室の中から、希望する場所で1日実習を行います。

自分の働く部署では見たことのない光景を見たり、聴いたり、緊張しながらも新たな発見にとっても楽しく学んでいます。そして、迅速な対応や確実な判断のためには「もっと勉強しなきゃ」「どんなときにも患者さまやご家族の気持ちを大事にしたい」などなど・・・明日からの看護に意欲を高めた新人看護師たちです。



確認・復習研修

慣れてきたころに起こりやすい油断からもう一度気をひきしめたり、安全で確実な技術の確認を行います。

9月には注射や採血の時に安全な針の取り扱いを復習しました。

その他にも点滴の準備や心臓マッサージ、人工呼吸など段階的に色々な知識・技術の研修をしています。

より実践的で、理解しやすいような教材を使い、グループや個人レッスンなど新人看護師が無理なく、職場に適應していけるよう様々な工夫をしながら支援をしています。そして何より、患者さまの立場に立つことを大事にし、研修の中でも多くの患者体験を行っています。自ら体験することで患者さまの立場に立った思いやりある温かな看護師を目指しています。がんばれ新人看護師！

1・2・3...
心臓マッサージ。



横浜医療センター症例検討会・研究会開催のお知らせ

西横浜整形外科症例検討会

開催日時 毎月第3木曜日 午後7時～

開催場所 当院大会議室

連絡先 日塔整形外科部長
045-851-2621(代)

横浜藤沢消化器疾患研究会

開催日時 奇数月第2月曜日 午後7時～

開催場所 当院大会議室

連絡先 小松臨床研究部長・松島消化器科部長
045-851-2621(代)

各症例検討会・研究会にご興味をお持ちの先生は、どなたでも参加を歓迎いたしますので、ご連絡下さい。

医師の人事異動

発令年月日	発令	職名	氏名	前施設	発令年月日	発令	職名	氏名
22.9.1	採用	糖尿病内分泌内科医師	野本 文子	太田総合病院	22.8.12	退職	歯科口腔外科医師	片岡 伸浩
22.10.1	採用	産婦人科医長	小笠原 良治	聖隷横浜病院	22.9.30	退職	産婦人科医師	小島 淳哉
22.10.1	採用	循環器科医師	嵐 弘之	東京女子医科大学	22.9.30	退職	形成外科医師	伊藤 秀憲
22.10.1	採用	産婦人科医師	和氣 清美	東京医科大学	22.9.30	退職	整形外科医師	柳澤 正之
22.10.1	採用	形成外科医師	橋本 政敏	相模原協同病院	22.9.30	退職	整形外科医師	武山 紘子
22.10.1	採用	整形外科医師	亀井 千裕	東京共済病院				
22.10.1	採用	整形外科医師	守谷 亜希子	北里大学病院				

看護学生募集のお知らせ



独立行政法人国立病院機構
横浜医療センター附属横浜看護学校

看護学生募集

一般入試：平成23年 1月20日(木)

	願書受付期間	受験科目
一般入試	H22.12.14(火) ~ H23.1.14(金)	学科：国語総合(現代文) 英語 ・ 数学 面接

学校説明会

お電話、Mailで、事前にお申し込み下さい

第6回 12月 4日(土) 【公開講座】

【住所】〒245-0063 横浜市戸塚区原宿3-60-2

【問合せ】TEL : 045 (853) 8322

【HP】<http://www.yokohama-ns.com/>



編集後記

秋になり、紅葉のたよりも聞く季節になりました。当院も、11月末の全面完成に向け、駐車場等の外構工事も着々と進んでいる状態です。患者様におかれましては、いろいろご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。



診療科・曜日	月	火	水	木	金	備考	
外来受付A	小児科	鈴木 陽一 本井 宏尚 矢竹 暉子	菅井 和子 山澤 隆二 増田 由香	菅井 和子 小張 真吾 及川 茂輝	鈴木 陽一 石橋 麻由 塩谷 裕美	小林 慈典 亀田 聡子 小郷 寛史	
	心臓血管外科	盆子原 幸宏	手術日	東館 雅文	東館 雅文	東館 雅文	木曜日は予約患者のみ(新患受付無し)
	形成外科	村下 一晃 橋本 政敏	橋本 政敏	手術日	村下 一晃	橋本 政敏	
	整形外科	国府 秀俊	日塔 寛昇	国府 秀俊	日塔 寛昇	安藤 有紀	
		守谷 亜希子	亀井 千裕	藤巻 洋	亀井 千裕	守谷 亜希子	紹介状お持ちの方も10時までに受付してください。
藤巻 洋		国府 秀俊	小林 洋介	安藤 有紀	小林 洋介 日塔 寛昇(※)	※予約患者のみ。	
外来受付B	総合内科外来	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	
	糖尿病内分泌内科	高木 佐知子	野本 文子	宇治原 誠	宇治原 誠		
	神経内科	上木 英人	壺橋 洋子	検査日	遠藤 雅直	高橋 竜哉	
	腎臓内科	松下 啓				松下 啓	
	呼吸器内科	濱 雅文	検査日	山川 泰	検査日	榎原 基史 山根 章(肺結核)	▲: 紹介状持参の方のみ ■: 午後の予約のみ
	消化器内科	▲交代医師(初診のみ) 鈴木 大輔 ■小松 達司	中尾 睦典子(初診) 鈴木 大輔 ■小松 達司	小松 達司(初診) 松島 昭三	松島 昭三(初診) 野登 はるか ■小松 達司	小松 達司	
	循環器内科	内田 吉枝 初診:交代(※)	岩出 和徳 網代 洋一(午前) 初診:田中 直秀	田中 直秀	▲田中 直秀(午前)	岩出 和徳	《循環器科新患当番医》*(月)第1・2[田中]・第3・4・5[岩出]
	リウマチ科	曾我 隆義	宮城 環美子	検査日	宮城 環美子	曾我 隆義 ■宮城 環美子	
	外科	清水 哲也	関戸 仁	松田 悟郎	関戸 仁		
		佐藤 渉	行田 悠	一万田 充洋	清水 哲也		急患のみ(交代医師)
中山 岳龍		原田 真吾	行田 悠	佐藤 渉			
呼吸器外科				正津 晶子	坂本 和裕 正津 晶子 椎野 王久	ご紹介については外来日以外でも随時受け付けておりますので、直接ご連絡ください。	
脳神経外科	急患のみ(手術日)	▲ 交代医師(脳ドック)	郭 樟吾(脳ドック)	急患のみ(手術日)	藤津 和彦 市川 輝夫(脳ドック)	▲: 第1・3・5週(火)岡田 富 第2・4週(火)宮原 宏輔 ※詳細はPM2:00～5:00の間に「医事 脳ドック受付」までお問い合わせください	
外来受付C	耳鼻咽喉科	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	
	眼科	清水 康平	清水 康平	清水 康平	清水 康平		
		木村 正彦	木村 正彦	木村 正彦	木村 正彦	手術日	火曜日は新患(要紹介状)・急患のみとなります。8:30～10:00
	泌尿器科	本田 直康 奥野 紀彦※	本田 直康 奥野 紀彦※	手術日	奥野 紀彦	本田 直康	※外来時間は11:00～12:00まで 水曜日午後は手術の為、入院患者の依頼はお断りしています。 至急診察が必要な場合は、電話をお願いします。
皮膚科	天羽 康之 谷口 友則	天羽 康之 谷口 友則	天羽 康之 手術日	天羽 康之 谷口 友則	天羽 康之 谷口 友則	初診は一般・小児心身症のみ。要紹介状。1日1人まで。	
外来受付D	心療内科	心理検査	心理検査	心理検査	心理検査	心理検査	初診は一般・小児心身症のみ。要紹介状。1日1人まで。
	精神科	森田 睦郎	武川 吉和	川崎 いくみ	佐倉 義久	武川 吉和	※月～金: 初診の方は10時までに受付を済ませて下さい。(要紹介状、1日2名の予約制) 初診は左記の再診担当医以外の医師が診察します。詳細は精神科外来にお尋ねください。
	産婦人科	向田 一憲	後藤 美緒	窪田 与志	栗杉 輝彦	中村 秋彦	
	産科	窪田 与志	長谷川 瑛	後藤 美緒	神保 覚子	向田 一憲	
歯科口腔外科	塩入 重彰(再診のみ)	塩入 重彰、中田好美(午前初診・午後再診)	入院手術日	塩入 重彰(午前初診・午後再診)	塩入 重彰(再診のみ)	初診は、火・木曜日8:30～11:00。初診急患は随時受付(紹介状から直接ご連絡ください)。 再診は完全予約制。再診急患は電話をお願いします。 初診:可能な限り、紹介状又は診療情報提供書を持参して下さい 詳細については歯科口腔外科部長にお問い合わせください。	
(専門外来)	小児科	アレルギー検査	感染症・アレルギー(小林)	アレルギー(菅井)	フォロアップ外来(小郷)	13:30-14:30予防接種(交代制)	
		シナジス(10～3月)(交代制)	フォロアップ外来(矢竹)	アレルギー(藤塚)	乳児健診(交代医師)	神経外来(増田/亀田)	
		アレルギー(菅井)	腎臓外来(泉重) フォロアップ外来(及川)	アレルギー(塩谷)	乳児健診(交代医師)	循環器外来(鈴木)	
		アレルギー(鈴木)	アレルギー(鈴木)				
	整形外科		スポーツ整形外科(国府)				毎週15:00～16:00
	神経内科		頭痛外来	物忘れ外来			地域連携室を通して完全予約制
	糖尿病内分泌内科		糖尿病連携バス外来				
	看護部			糖尿病看護ケア外来			完全予約制
	麻酔科			糖尿病フットケア外来			
	外科		ペイン・緩和外来				地域連携室を通して完全予約制
	耳鼻咽喉科			スキンケア外来(※)	乳がん検診(※)		(※)完全予約制
	循環器科			ヘルスメーカー外来	補聴器外来(午後)		完全予約制
精神科		物忘れ外来				初診には紹介状が必要。1日2名の予約制。	
産婦人科	母親教室(※)	助産師外来(午前) 母乳外来(午後)	母親教室(※)	助産師外来(午前) 母乳外来(午後)		第2週、第4週のみ。 (※)午後のみ。夫立会教室は第2、4週土曜日、第3週日曜日。 ※注⑦13:30～15:30【完全予約制】 ※注⑧9:00～11:00【完全予約制】	
放射線科		菅川 由美子 注⑦	幡多 政治 注⑧				

初診受付: 平日 8:30～10:00
再診(予約外)受付: 平日 8:30～10:00
休診日: 土曜・日曜日・祝日・12月29日～1月3日
地域医療連携室(脳ドック受付)(TEL 045-853-2331)

急患は随時受け付けます。来院前に病院にご連絡下さい。(TEL 045-851-2621)
紹介状又は、診療情報提供書をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示下さい。
地域医療連携室 TEL 045-853-8355 (月～金 8:30～17:00)
TEL 045-851-2621 (時間外、土・日・祝日)
FAX 045-853-8356

お知らせ 色つき部分が変わ箇所となります。ご確認の上受診ください。

(写真右)

戸塚は江戸時代には東海道の宿場として栄えており、旅籠の数も小田原に次ぐ所で江戸より10里、小田原まで10里と中間点にあるため、江戸を朝立ちして戸塚で泊まり翌朝小田原に向かって出発するので大変賑わった町でした。

又、現在の戸塚消防署とスルガ銀行戸塚支店の間は大商店が立ち並び、旅籠や遊廊等が点在していました。

